

2024年3月期 決算について

2024年 5月9日
JFE鋼板株式会社

2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前期増減率)

連結経営成績

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%			
2024年3月期	72,934	△ 5.1	5,044	△ 65	3,481
2023年3月期	76,870	10.9	4,946	△ 154	3,483

注 連結子会社数 2024年3月期 5社、2023年3月期 5社

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前期増減率)

(参考)単体経営成績

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%			
2024年3月期	63,824	△ 5.3	4,914	-	3,528
2023年3月期	67,419	11.5	4,354	△ 154	3,217

【当期の概況】

当期の国内薄板建材の需要は、資材価格の上昇と職人不足の影響を受け、住宅分野においては価格上昇による取得マインドの低下、非住宅においては主に中小物件の減少により、新規住宅着工戸数(持家)は前年比△12%、非住宅着工床面積は前年比△10%となりました。

このような需要動向により、当社の販売数量および生産量は、大幅に減少しました。

【当期の損益】

連結経営成績は、売上高72,934百万円(前期比△3,936百万円)、経常利益5,044百万円(前期比+98百万円)、当期純利益3,481百万円(前期比△2百万円)となりました。

単体経営成績は、薄板建材需要が低迷する厳しい状況のもと、製造部門は品質・操業の安定化や歩留・生産性の向上、管理部門は一般管理費の圧縮を始めとした継続的なコスト合理化に取り組むとともに、営業部門では販売価格の改善により、単体経営成績は、売上高63,824百万円(前期比△3,595百万円)、経常利益4,914百万円(前期比+560百万円)、当期純利益3,528百万円(前期比+311百万円)となりました。

【次期の見通し】

国内薄板建材需要は、先行き不透明感が増しており、予断を許さない状況にあります。また、2024年物流問題への取組みや、深刻さを増している諸物価高騰への対応などが重要な課題になっています。

このような環境を踏まえ、以下の施策により安定した収益基盤の維持・拡大を図ります。

1)販売面においては、環境に優しいクロメートフリーカラー鋼板「Jクラフト®」や独自技術「ガルフレックス®」を武器に、お客様のニーズを確実に捉えた販売活動に努めるとともに、製品の原板となる薄板価格の上昇、物流費、労務費、エネルギー価格等の諸コストの上昇に見合う再生産可能な適正価格の実現に取り組めます。

2)製造所においては、東西2製造所体制のもと更なる品質・操業安定化を図り、無駄のない効率的な生産に徹します。また、足下で実行しているシステムリフレッシュと併せて、製造設備更新の検討を深めます。

3)建材事業においては、価格適正化に取り組むとともに、現場施工性に優れた「ジョイント立平®」や自社開発PV金具の販売、高機能商品の開発・事業化等、お客様満足度を高めつつ収益力アップを図ります。

以上